

11月23日「 Bangladesh独立50周年記念イベント」リモートで開催！ ミトンさんの「ビジョン2021」達成をみんなで祝福しましょう！

2021年の今年、Bangladeshは独立50周年を迎えます。21年前、HFW Bangladesh事務局長ミトンさんは、栗原英彰・弘美夫妻と共に「2021年までにBangladeshの飢餓を終わらせる」という壮大なビジョンを創りました。

長年にわたり、ミトンさんは自国の飢餓を終わらせる活動に全身全霊を捧げ、栗原代表理事は13年間、首都ダッカで「飢餓を終わらせるためのビジョン・リーダーシップ・パートナーシップ」セミナーを行い、こころのビタミンはミトンさんの活動を支援し続けてきました。2010年、Bangladesh政府は国の政策に「ビジョン2021」を掲げ、奇跡的な発展を遂げ、アジアの最貧国だったBangladeshは今や中所得国となり、飢餓も克服しました。

これはBangladesh国の達成であり、ミトンさんのビジョン達成であり、こころのビタミンの私たちの達成でもあります！

コロナ禍のため、現地に行けないのが残念ですが、せめて

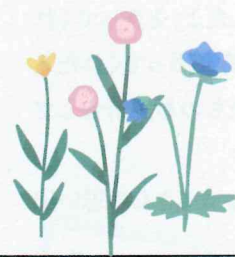
Bangladeshと日本の仲間がオンラインでつながって、この偉大な達成をみんなで祝福したいと思います。

イベント前半は、お互いの国から、これまでの軌跡や奇跡の分かち合い、後半は、みんなで、自宅でカレーを食べて、楽しく盛り上がりという企画です。

通訳は在日Bangladesh人のアニスルさん。彼がBangladeshの美味しいカレーのレシピも教えてください。

日本からできるだけ大勢が参加し、Bangladeshの仲間と喜びを爆発させましょう。

あなたのご参加をお待ちしています。



またはQRコードより
お申込みください。



Bangladesh独立50周年記念イベント 『ビジョン2021』の達成を祝して

日時：2021年11月23日（火・祝）13:00～16:00（日本時間）

会場：オンライン（Zoom） 参加費：無料

申込方法：こころのビタミン研究所HP(<https://www.cocoro-v.org/>)

申込期間：10月25日（月）～11月19日（金）

参加者：こころのビタミンの会員の方及び会員の紹介があればどなたでも。



中野京子さん

新事務局長 挨拶

この度、事務局長に就任いたしました中野京子です。こころのビタミン設立時よりボランティアとして事務作業に携わり、約10年前から本格的に事務局で作業をしており、理事も勤めております。

前任の鷹野えみ子さんが設立当初より愛情を注ぎこんでいた、こころのビタミン研究所。才能豊かで社交的で明るくて素晴らしい鷹野えみ子さんには及びませんが精一杯務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

会員の皆様ははじめこころのビタミンの活動を支援してくださる皆様に感謝申し上げます。

こころのビタミン研究所の活動にご支援をお願いいたします！

→ご寄付はホームページからお申込みいただけます

【振込先】 郵便局：ゆうちょ銀行 記号10100 番号77011271

銀行口座：三井住友銀行 三田通支店 普通7852939

【口座名（郵便局・銀行共）】 特定非営利活動法人こころのビタミン研究所



〒108-0073

東京都港区三田3-1-5 第一奈半利川ビル3F

TEL 03-5765-1956 FAX 03-5765-1961

E-mail info@cocoro-v.org

URL <http://www.cocoro-v.org>

ブログ <http://ameblo.jp/cocoro-v>

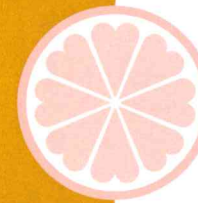
Facebook 認定NPO法人こころのビタミン研究所

ビタミンニュース No.28 2021年10月号

発行日/2021年10月25日 発行/認定NPO法人 こころのビタミン研究所

Vitamin News

ビタミンニュース NO.28 2021年10月号



COCORO NO VITAMIN
こころのビタミン
認定NPO法人 研究所

会場とオンラインで60名が参加し 「ハートフルファミリーの集い」開催

会場とオンラインで
参加者がつながって

毎年恒例の「ハートフルファミリーの集い」が、4月17日（土）、ビジョンダイナミクス研究所の会場とオンラインをつないで60名が参加し、『OSK、こころのビタミンの活動はおせっかい』をテーマに開催されました。OSKとは「おせっかい」のことで「困っている人や元気のない人に思い切って、おせっかいをしよう」という、こころのビタミン研究所の中心にある考え方です。会員の皆様のご寄付は、まさにOSKそのものであり、それが世界を救うことにつながっていることをお伝えしました。

海外支援では、「Bangladeshの飢餓を独立50周年である2021年までに終わらせる」というビジョンの達成を祝い、そのために皆様のご寄付がどのように生かされ、支え続けてきたのか、その変遷をたどりました。わたしたちのOSKが大きな違いを創ってきたことを実感しました。

国内の支援先からは「一般社団法人てらこや新都心」代表の大場明美さん、「みんなの助産院@埼玉」の長井敦子さんをお招きし、活動報告をして頂きました。お二人とも、困っているお母さんたちに手を差し伸べたいというお気持ちから活動を



始められ、リーダーとなって貢献されています。

参加者からは、「お二人の活動にとっても感銘を受けた」という感想を多くいただきました。後半は、参加者同士で「自分たちにできるOSK」について、グループ討議をし、今、このコロナ禍で、身近な人に気軽に声をかけてみるなど、大げさなことではなく、自分にできることが色々ある、とシェアし合う時間となりました。（理事 五十嵐範子）

一人で悩まないで。
あなたには相談相手があります。
「こころの無料相談」をご利用ください。

こころのビタミン研究所では「すべての人がこころの相談相手を持つ」をテーマにこれまでも会員対象に相談事業を行って参りましたが、この4月からは、会員非会員を問わず、すべての方を対象に、こころの悩みを抱える方への無料相談を始めました。

終わりの見えないコロナ禍。直接的なつながりが希薄に感じられる中、国内では自殺率の増加、特に女性や未成年の自殺者が目に付き、心が痛みます。異常気象も加わり地域によっては自然災害も激しく、四面楚歌で希望が持てず苦しんでおられる方も少なくないのではないのでしょうか。

「将来に不安を感じている」「居場所がなく孤独を感じている」「自分の生き方に悩んでいる」など、誰に相談していい

かわからないという、こころの悩みを抱えるすべての方々が、ご都合の良い時間に予約、ご相談いただけます。

人は誰かや何かとつながっているとき、安心や充実感を感じ、初めてありのままの自分自身を開示できます。現在のようにつながりを分断され、孤立が深まると、人は本来の輝きを発揮することが難しいのです。誰かに聴いてもらえたと感じることで、気持ちが軽くなったり、安心したり、気持ちを整理しやすくなり明日の活力を取り戻すことが可能になります。孤独の中で抱えている重荷を、少しでも楽に感じていただけたらと願ってやみません。ぜひ、お気軽にご利用ください。

また、お知り合いでもし気になる方がいらしたら、ぜひこの「こころの無料相談」をご紹介いただけると嬉しいです。

（理事 湯田佐恵子）

お申し込み方法など詳しくはこちら
<https://www.cocoro-v.org/domestic/#muryo>
または「こころのビタミン研究所」のHP
(<https://www.cocoro-v.org/>)から「国内活動」をご参照ください。

令和2年度 収支報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位:円)

収入の部		支出の部	
会費収入	668,000	勉強会事業	14,160
勉強会事業	0	相談事業	99,232
相談事業	122,192		
海外支援事業		海外支援事業	
Bangladesh	635,000	Bangladesh	3,155,108
ハイチ	10,000	ハイチ	4,923,910
東日本大震災支援	20,000	東日本大震災支援	12,000
熊本地震支援	0	熊本地震支援	00
自然災害支援事業	0	自然災害支援事業	4,000
子ども支援	60,000	子ども支援	2,201,650
寄付金	14,713,175	あしなが育英会へ寄付	180,000
		喪失回復プログラム	225,500
		会報及び出版物発行	117,950
受取利息	175	管理費、諸経費	3,860,156
当期収入	16,185,542	当期支出	14,793,666
前期繰越金	13,542,323	次期繰越金	14,934,199
合計	29,727,865	合計	29,727,865

令和3年度通常総会が6月3日に開催され、令和2年度決算報告及び令和2年度事業計画は満場一致で承認されました。



惜別 鷹野えみ子さん、 ありがとう！

人に与えて、楽しんで貢献してくれた
えみ子さん、大好きです！

(代表理事 栗原弘美)

5月12日、鷹野えみ子さん（こころのビタミン研究所副代表理事兼事務局長）が、乳がんのため逝去されました。わずか55歳の若さでした。

私とえみ子さんの出会いは1993年、私と夫が創設したビジョナダイナミックス研究所の1期生として関わるようになりました。当時えみ子さんは簿記の資格を持ち、会計事務所に勤務していました。彼女は成長意欲が高く、ほどなく会計事務所を辞めて、デニーズで働きながらボランティアとして研究所を手伝ってくれました。

2000年にこころのビタミン研究所の創立時も、組織作りや手続きなど、中心になって貢献してくれました。またバングラデシュを視察し、女性たちや子供たちの笑顔に触れて、ますます熱意と意欲を高めてくれました。

とても面倒見が良く、夫と私は何から何まで世話をしてもらっていました。二人とも出張の時は泊まり込みで息子たちに食事を作ってくれたり、高校入学の手続きに付き添ってくれたりもしました。次男は「えみちゃんは俺たちのこと、よく褒めてくれた。皿片付けただけでも」とえみ子さんを偲んでいます。

えみ子さん亡き後、自分がどうやって生きていられるのか、会社がどのようにやっていけているのか分からなくなる時があります。きっと天から助っ人を買って出ているのでしょう。えみ子さんの慈愛、気前のよさ、情熱を引き継いで生きていきたいと思えます。短いけれど人の何倍も与えて、楽しんで貢献してくれたえみ子さん、ありがとう。大好きです。

ハワイへ
家族旅行



私の天使、そして最高のパートナー

(理事 鷹野治夫)

彼女は2021年5月12日、「バイバイ」と言い、たくさんの笑顔を残し、まるでジェット気流に乗ったスピードで今世を旅立って行った。それは「私、次にやりたいことがあるから、行くね」と言っているような感じがした。彼女の戒名は「法住院慈愛微笑大姉（ほうじゅいんじあいみしょうだいし）」。菩提寺の住職が彼女にピッタリなとても素敵な戒名をつけてくれた。「微笑」は「みしょう」と読むらしい。

私にとって彼女は天使のような存在で、最高のパートナーだった。結婚することを諦めていた私と結婚もしてくれたし、子供も産んでくれた。そしてたくさんの幸せを与えてくれたことに感謝したい。

彼女は本当に人が好きだった。「私、人に関わるのが好きだから、一生この仕事をしたい」と言っていた。関わる人の喜ぶ姿が好きで、愛に溢れていた。そんな彼女を見ることが私はとても嬉しかった。好きな職場でやりたいことをして、幸せな人生だったんだろうと思う。これからは、彼女の笑顔のように、目の前の人に笑顔と喜びがある人生を歩んでいきたいと思う。



バングラデシュで
スピーチする
えみ子さん

ミーハーなところも魅力だった
えみ子さん、ありがとう。

(副代表理事 中野隆一)

鷹野えみ子さんとはバングラデシュへいっしょに行ったり、事務所移転を考えていた時に家を見つけてもらったり、息子の服を頂いたり、たくさんのことをして頂きました。

かなりミーハーなところもあり、ジャニーズが好きで、特に草雄君がお気に入り、「隆ちゃんはジャニーズの人みたい」と言われたり、大学の名前を言っても「フーン」と軽くあしらわれたり、でも高校の名前を言ったら、同郷（福島県）なので「隆ちゃんって、かなり頭いいんだね」と言ったりと、ミーハーなところ全開でした。

また、バングラデシュの村で話を聞いている時に、私が泣きそうになっていると「泣いていいんだよ」と言ってくれたことを思い出します。多くの人たちに寄り添ってくれたえみ子さん、そちらでも元気に多くの方たちのお節介をしていてくれることでしょうね。

これまで本当にお世話になりました。たくさんの思い出をありがとう。

えみちゃんとの
ツーショット



愛と豊穡の天使として

(HFWバングラデシュ事務局長 アタウル・ラーマン・ミトン)

2000年に私が栗原英彰さん、弘美さんと共に「独立50周年までにバングラデシュの飢餓を終わらせる」という壮大なビジョンを創ってから21年。わが国は奇跡的な発展を遂げ、このビジョンは実現しました！このような達成ができたのも、こころのビタミンの皆さんの支援があったからこそであり、特に、私は最近天国に召された親愛なる鷹野えみ子さんに感謝いたします！この地上を離れたえみ子さんの魂が天国で神様に応分の労いを受けているように祈っています。こころのビタミンを通して、バングラデシュの数千人の母子がえみ子さんの支援の恩恵を受けました。えみ子さんは愛と豊穡の天使として、これからも私たちといっしょにいてくれるでしょう。



ハイチは大統領暗殺、そして大地震。
困難な状況の中でも
活動を続けています。

診察を
待つ親子



(IAH代表 センティル・ラゲル)

ハイチでは7月7日に大統領が暗殺されました。モイーズ大統領は統治の悪化や独裁、ギャング間の暴力など、支持率は急落していましたが、私たちはこの酷い殺害を非難します。

さらに8月14日、ハイチ西部はマグニチュード7.2の大地震に襲われ、死者は1800人を超え、負傷者や行方不明者は不明です。この地域は、ハリケーンにより洪水と土砂崩れが起きていたところに、大地震が追い打ちをかけ、壊滅的な打撃を受けました。

地震後、ギャングもある種の和平協定を結び、少し平穏が戻ってきています。彼らも地震で親族を失ったからです。この停戦で、政情不安が軽減することを期待しています。

現在医療センターはフル稼働しています。スタッフは通勤経路が安全か判断して、その日の出勤を決めています。患者は1日10人ほどで余り多くはありません。

職業訓練校は80%完成していますが、建設を一時停止しています。この地域をギャングが支配しており、警察が介入できません。学校、お店などどんな些細なこともギャングと交渉して、お金を払わなければなりません。ですので、残りの建築資材をどうやって搬入するかが問題です。

ハイチは非常に困難な状況にありますが、私は一人ではないと思うと勇気が沸いてきます。こころのビタミンの支援に心から感謝します。みなさんは私の誇りです。

ハートフルファミリー紹介

こころのビタミンには活動を支えてくれる多くのファミリーがいます。今回は、毎月10万円という高額を寄付してくださっている梅澤三央さんを紹介します。

お金は愛のエネルギーを 形にしたもの

こんにちは、梅澤三央です。私は生命保険の営業の仕事をしています。保険はいつ、どこで、誰が出会うかわからない万が一のために、お互いにお金を出し合って助け合う、相互扶助という素晴らしい仕組みで成り立っています。この度の新型コロナウイルス感染もひとつの災害と言えますが、社会の課題として相互に助け合い、支えあうことが必要だと思っています。コロナ禍がきっかけでこころのビタミンに継続的に寄付を始めました。今までも単発的な寄付はしていましたが、毎月寄付をすることで、仕事のモチベーションに繋がっています。頑張って働いた報酬が自分以外の大切なことに役立つというのはとても励みになります。

私自身ファイナンシャルプランナーという資格を持ち、講師としても活動する中で、お金は目に見えない愛などのエネルギーを形にしたもので、『ありがとう』という気持ちを与え合うことができるということを伝えたいと思っています。私には、6歳の娘と4歳の息子がいますが、未来の子供達のために、少しでも社会貢献に繋がったら嬉しいです。

最後に、こころのビタミンに寄付するきっかけとビジョン心理学を学ぶ機会を与えてくださった鷹野えみ子さんに感謝いたします。いつもあたたかい言葉と笑顔に元氣と勇気をもらっていました。これからは天国から見守ってください。



梅澤三央さん